

空と木と

ときどきの梅暦



真下 魚名



春の野を行く



春は光に溢れている



其の光に誘われて、



春だ春だと騒ぎだす

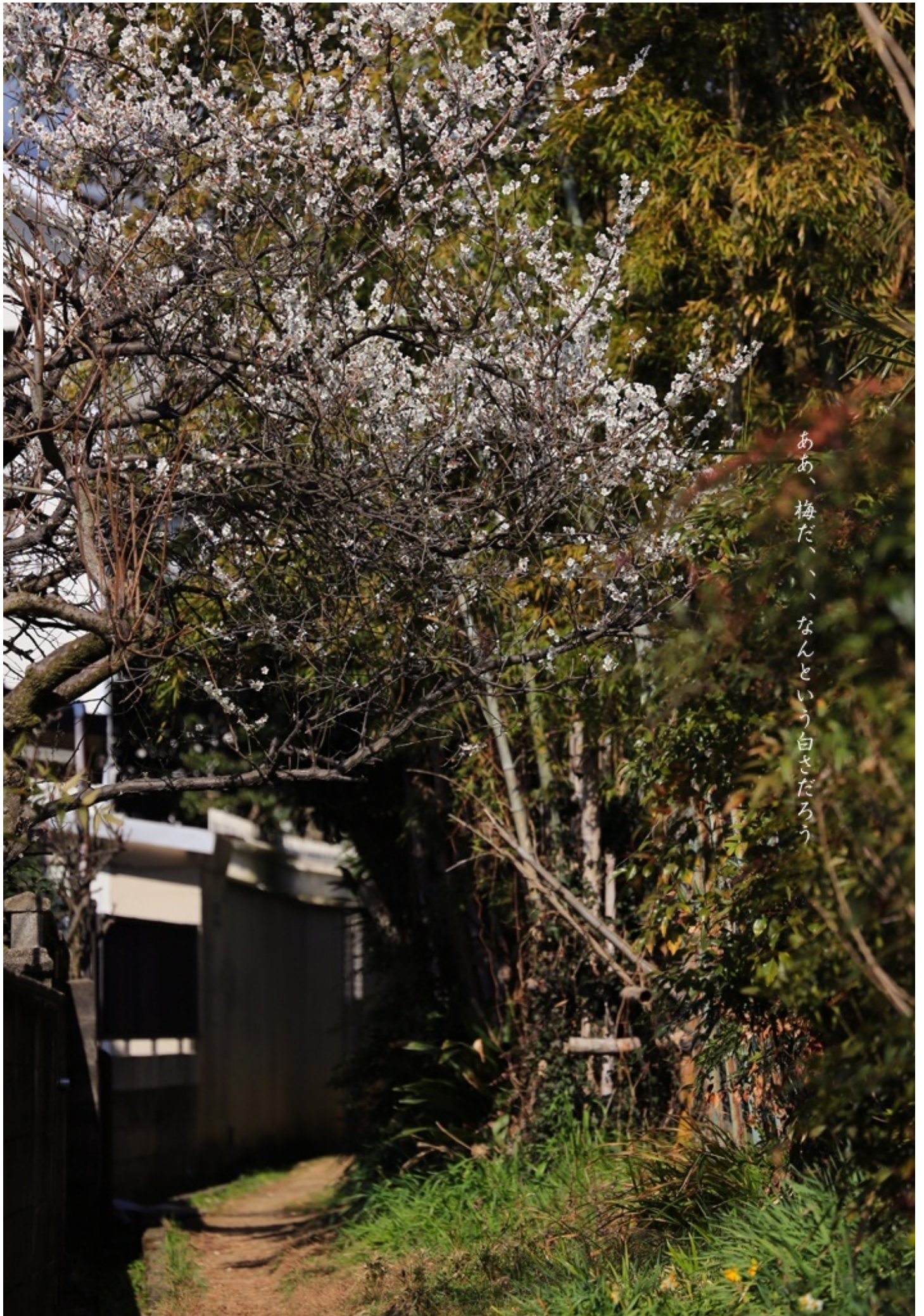


この雑多で小さな花の



名前が有るなんて





ああ、梅だ、
、
、
なんと
という
白さ
だろ
う

写真だと
とても地味な花だけど
絵に描くと
とても高貴に見える



椿の赤は特別な赤だ



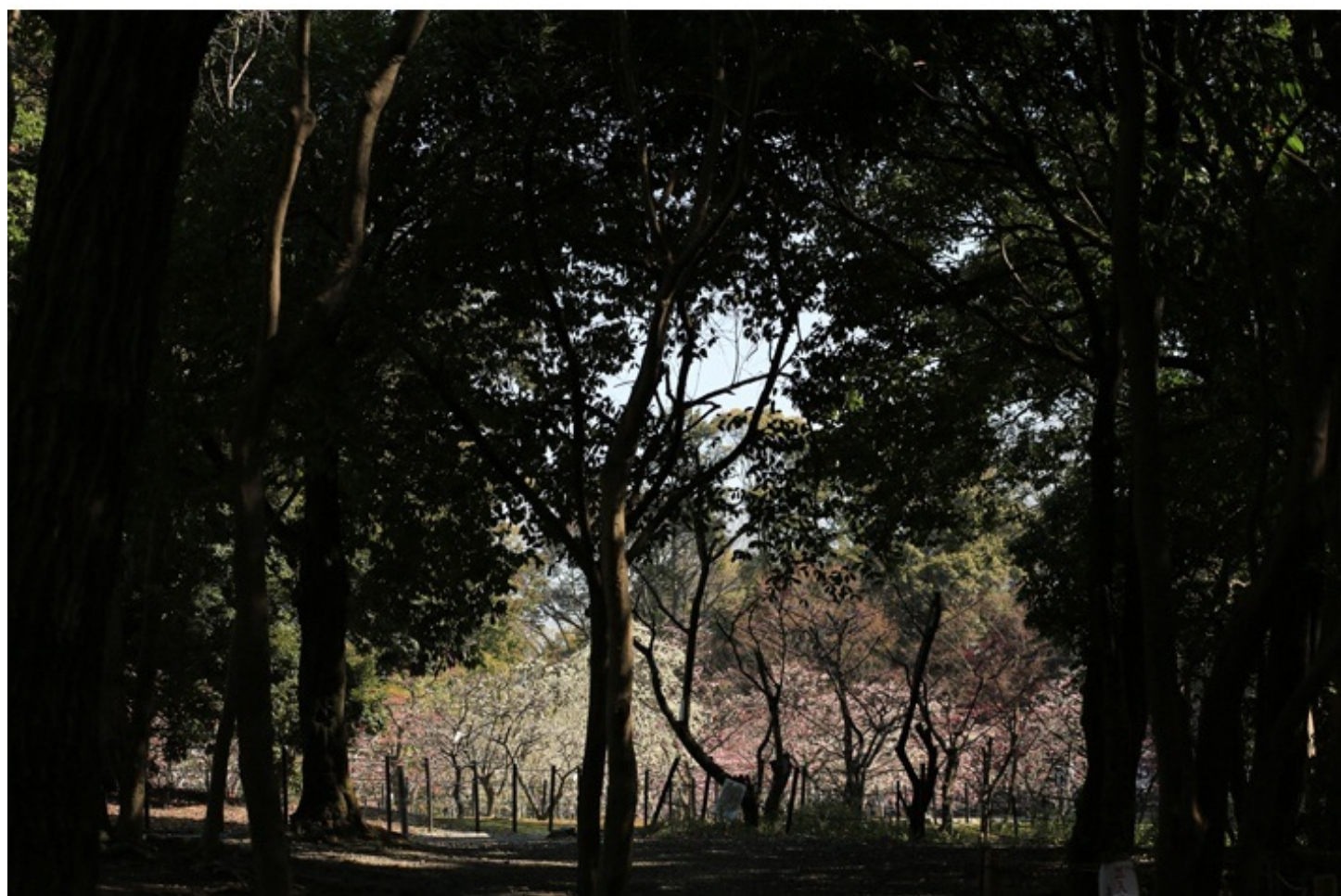
藪に咲く椿を見ると
何かの怨念のようだと
思うほど、惹き付けられる



暗い林の向こうに
見えて来た



もう少し



あと少し



梅の園



紅、白、桃、黃色



枝垂に



八重もある



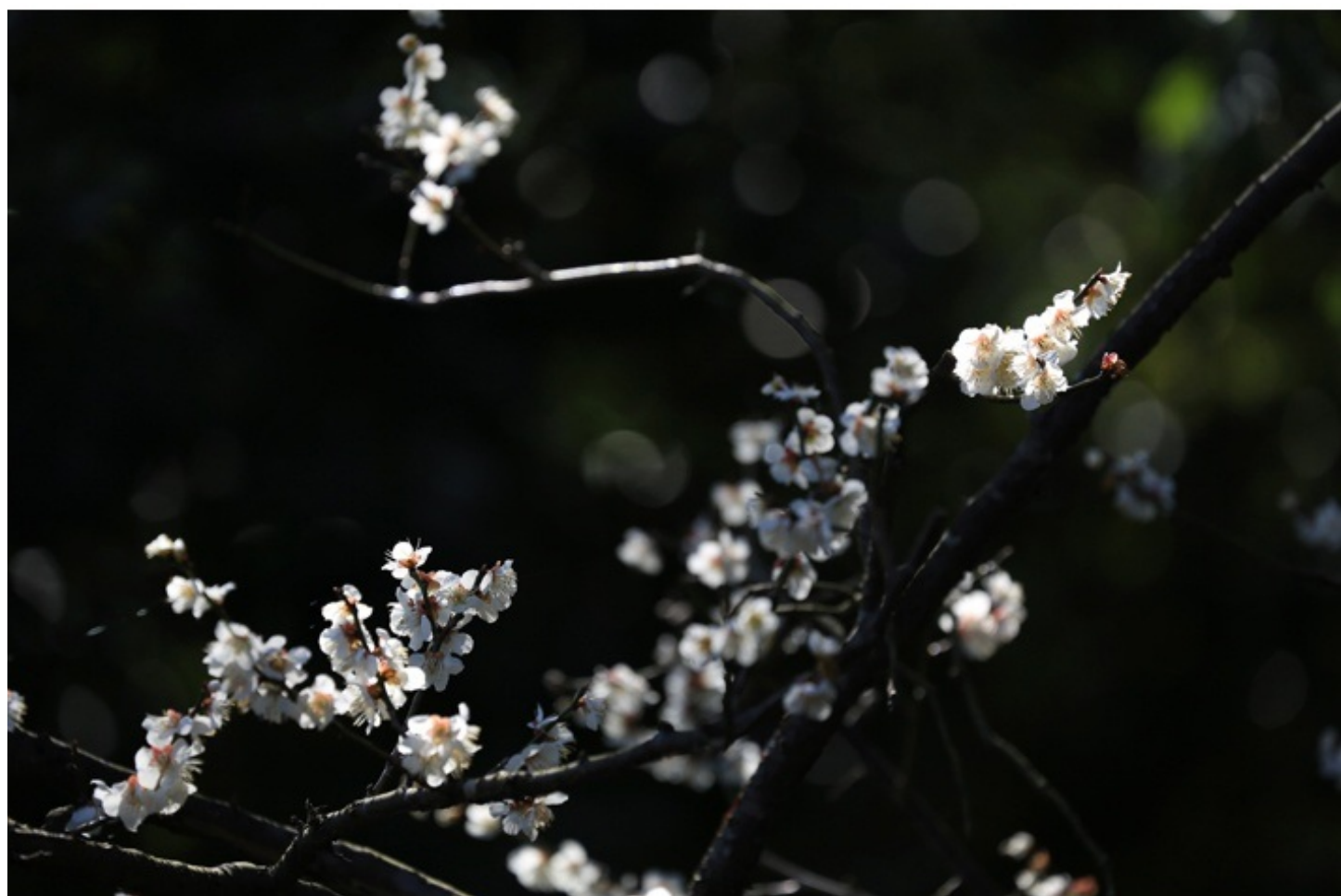
その多様性は



人に愛されて来た
証だ



この可憐なせせとやきが、



薔薇科だなんて、



このわんこの鼻はきっと、
梅の香りでいっぱいだろう



この子もいつか、
大人になって



誰かと肩を並べて
梅を見るだろう















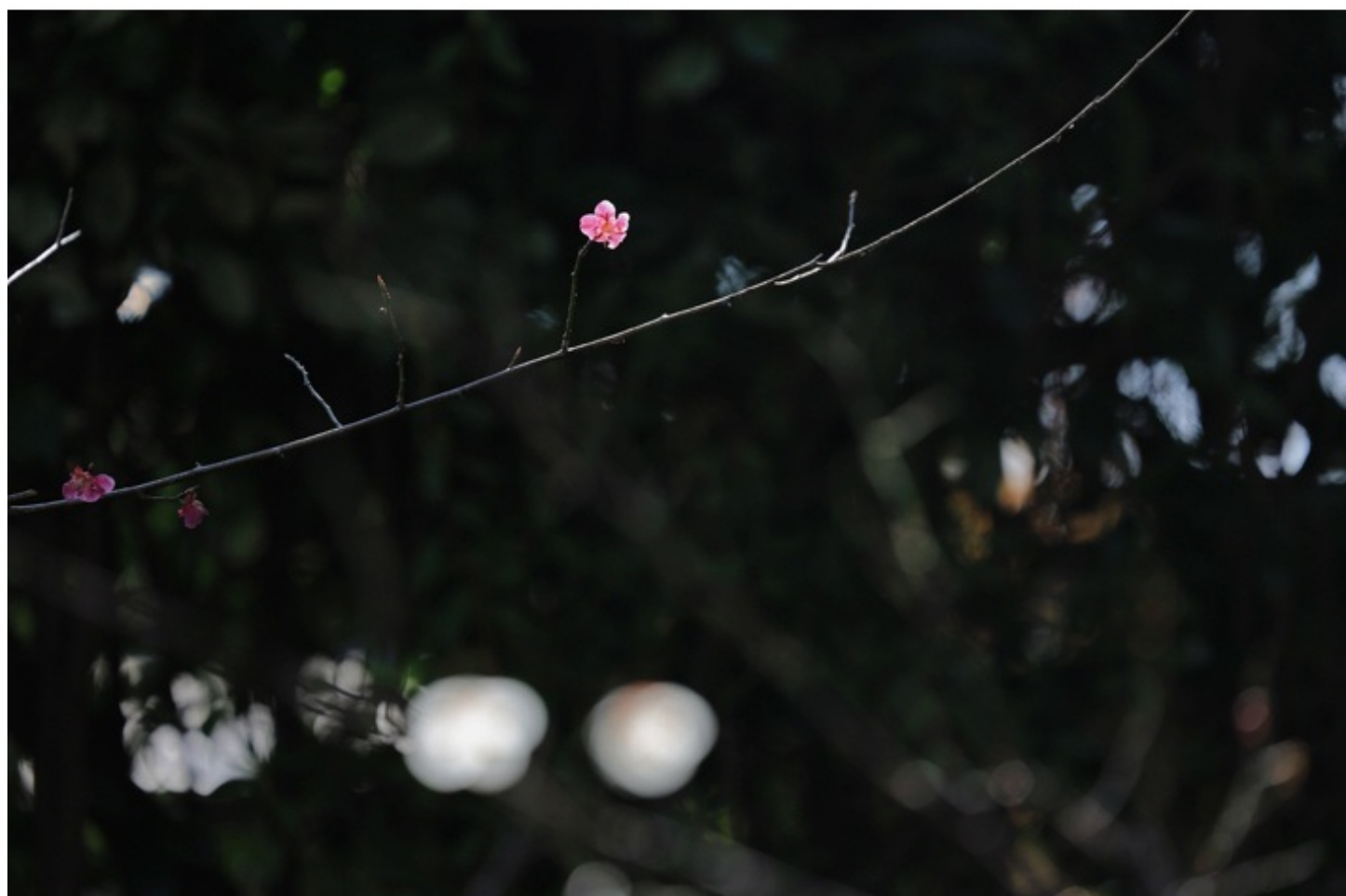




梅と桜、どちらが好きと
問われたら



躊躇無く桜と答えよう



でも、人としては
梅のごとくでありたいと
思う



天神さまの梅には、



誰かの願いが結ばれている



きつと、きつと、
かないますように





写真集「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」

写真集「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」

写真集「空と本とたまに月」

写真集「からくれないに」

「黄金の麦畑」

1. Largo

第1回 ～ 第40回

「黄昏の王国」

イーリアス編

アリシア編

— 僕カノシリーズ —

「僕が彼女に殺された理由（わけ）」

「僕と彼女の選択の事由（わけ）」

「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった。」

「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」

「僕と彼女と複雑な関係者たち」

「僕と彼女と単純な関係式」

「僕と彼女と校庭で」

「僕と彼女と校庭で 夏」

「僕と彼女のアリア」

「僕と彼女のインベンション」（次回）

— その他 —

夕暮れの赤ちょうちん

いもうと

サマータイム・ブルース

危険なドライビングマジック

デフラグメント

インフルエンス あのころの僕たち

花舞い、名残り雪

詞画集「ただ憧憬れだけを」

写真集「空と窓と、ときどき月」

写真集「あみる桜」